

セラピー・ロボット「パロ」設計者 柴田崇徳 産業技術総合研究所上席主任
研究員講演会「パロ」の利用方法とその効果（英語による講演）



© AIST, Japan

ギネスブックで「世界で最もセラピー効果があるロボット」として認定された「パロ」は、1993年に開発が開始され、2005年に実用化に至り、現在は約30カ国で約5,000体が使用されており、2018年11月にはヨーロッパにおいて医療機器登録される予定です。

このたび、「パロ」設計者である柴田崇徳産業技術総合研究所上席主任研究員訪欧の機会に、下記要領で講演会を開催します（講演は英語で行われます）。

「パロ」の今後のユーザーとなりうる方々を対象に、非薬物療法としての「パロ」の利用方法や、その効果を臨床エビデンスと共にお話いただきます。

ご関心の方々におかれましては、奮ってご参加賜りたく、ご案内申し上げます。

日時：2018年11月7日（水）14：00～15：30

場所：デュッセルドルフ日本商工会議所 会議室

主催：ケルン日本文化会館

協力：デュッセルドルフ日本商工会議所、ジェトロ・デュッセルドルフ

参加ご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先（メールアドレス）を明記の上、電子メールにて jfco@jki.de までお申し込み下さい。

※11月6日（月）19：00より、ケルン文化会館でも柴田教授による講演会が開催されます（日本語による講演、日独逐次通訳付き）。パロの研究開発やその背景にある日本のものづくり文化、パロを用いるロボット・セラピーとその効果などについて、わかりやすくお話いただきます。